

URELベースボールリーグ 黒門会スポーツ 2号



初勝利 初得点 初勝利
四回無死一・二塁のチャンスを生かす!

	1	2	3	4	5	6	7	計
W	3	3	0	8	6			20
S	0	0	0	0	0			0

バッテリー 武者→遠藤→山口 — 丹羽
 安打 遠藤、山口

スコアは20-0 (T.T)



雨天順延となつた早稲田稲門会との試合が、23日に天王洲公園野球場にて行われ、この試合でブルック戦の最終戦となる。シルバークウイークの最終日・祝日のため参加者が激減するかと思いきや、選手は先週の三田会戦より多い14名。総監督の藤村会長も参加の15名も。

黒門会は三田会戦同様、武者、丹羽のバッテリーで臨む。稲門会先攻。初回は、二回と稲門会は、ヒットを重ね、6得点。黒門会も左翼飯田が大飛球を捕球、二塁手古澤が難しいゴロをさばくなど、随所に好プレーがあつた。三回、稲門会の攻撃を黒門会初回の三者凡退で切

7・8・9位決定戦へ

メンバーは随時募集。年齢・性別問わず。黒門会野球部代表。丹羽三ツまで。

順位決定戦の初戦は東洋白山会の予定。何とかならずに勝利し、7位もしくは8位で終わりたいところである。

黒門会は稲門会投手をなかなか打ち崩せず。しかし四回、黒門会の攻撃。遠藤、山口と連続ヒット。無死一・三塁のチャンスを生かす。絶好のチャンスを迎えたが、後続が断たれた。初得点はお預けとなつた。ブルック戦は2敗となり、黒門会は、次月の7・8・9位順位決定戦へ進むことになった。